

地域を駆けめぐる 江戸時代の商人と流通

事前申込制 (先着順)

12/24 (火) ~ 1/10 (金)



画像：国立国会図書館

本講座では、現在山形県内に伝来する歴史資料から、江戸時代の商業に関する内容を取り上げます。城下町や宿場町が中心的役割を果たし、一方で村落にも「あきない」をする人がいました。各地の特徴とともに「株仲間」「米価」「特産品」といった言葉から、当時の人びとが手掛けた商品の取引や、その規制を考察します。



講師

荒武 賢一朗 氏

東北大学
東北アジア研究センター
上廣歴史資料学研究部門 教授

京都府出身。近世日本列島の経済交流を明らかにすることを目的に、18世紀から19世紀にかけての日本経済の歴史を研究。古文書の分析だけでなく、フィールドワークも含めて研究に取り組む。これまで村山・最上地方の近世史をテーマに当館での講座を開催。

主な研究テーマ

- ・近世都市をみる視点
- ・沿岸社会と経済交流の歴史
- ・日本列島市場論の提起と近世流通市場



●お申し込みはQRまたはHPから ●会場：山形県立博物館 講堂

●申し込み期間：12/24 (火) ~ 1/10 (金) ●参加費無料

お問い合わせ：山形県立博物館 講座担当係 TEL：023 - 645 - 1111